

PIMCO ニューワールドインカムファンド
<豪ドルコース> (毎月分配型) / <ブラジルリアルコース> (毎月分配型)
第19期分配金のお知らせ

追加型投信 / 海外 / 債券

平素は「PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (毎月分配型) / <ブラジルリアルコース> (毎月分配型)」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

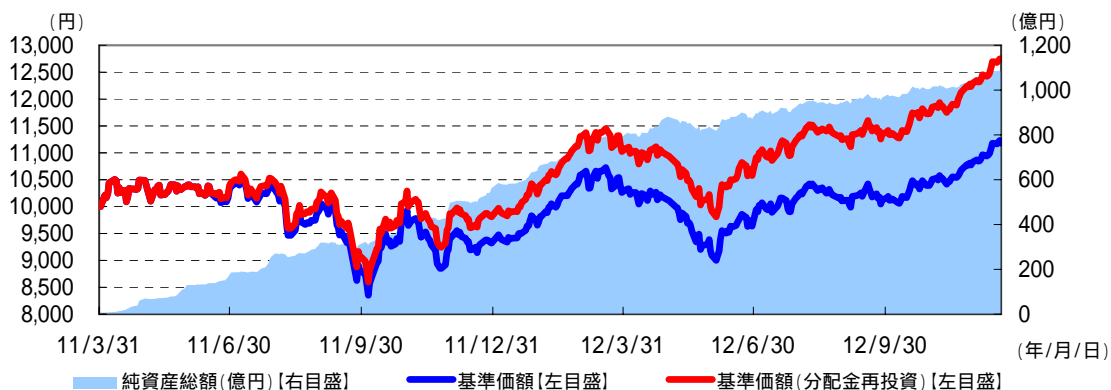
さて、この度当シリーズは、12月20日に第19期の決算を迎えました。シリーズのうち、当期の分配金を豪ドルコース50円(1万口当たり、税引前)、ブラジルリアルコース50円(1万口当たり、税引前)、といたしましたことをご報告申し上げます。

設定来の分配金累計は1万口当たり、豪ドルコース1,310円(税引前)、ブラジルリアルコース1,670円(税引前)となっております。

分配金見直しの背景や運用状況につきましては、3ページ以降のQ & Aをご参照のほどお願い申し上げます。

【豪ドルコース】

基準価額の推移 (期間:2011年3月31日～2012年12月20日)



・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率1.7325%(税抜1.65%))控除後の値です。
 ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

分配金実績 (1万口当たり、税引前) (第1期～第19期)

第1期 (11年6月)	第2期 (11年7月)	第3期 (11年8月)	第4期 (11年9月)	第5期 (11年10月)	第6期 (11年11月)	第7期 (11年12月)	第8期 (12年1月)	第9期 (12年2月)	第10期 (12年3月)
70円	70円	70円	70円	70円	70円	70円	70円	70円	70円
第11期 (12年4月)	第12期 (12年5月)	第13期 (12年6月)	第14期 (12年7月)	第15期 (12年8月)	第16期 (12年9月)	第17期 (12年10月)	第18期 (12年11月)	第19期 (12年12月)	
70円	70円	70円	70円	70円	70円	70円	70円	50円	

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

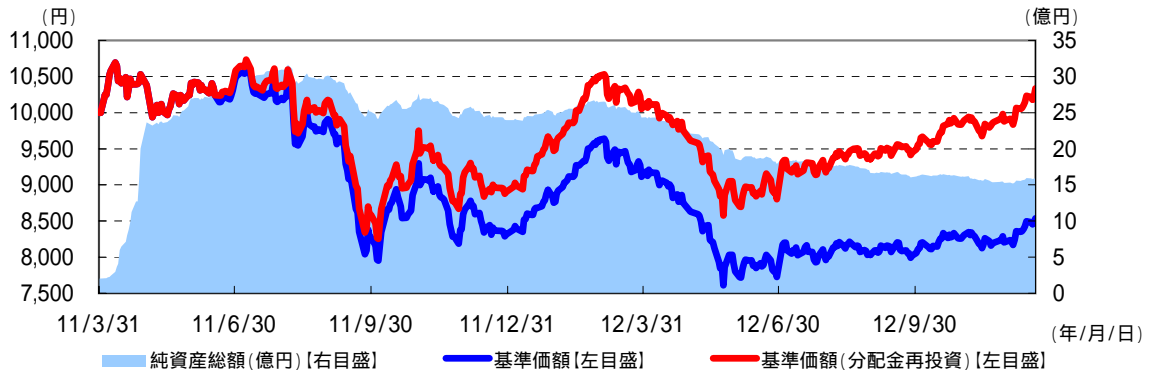
・基準価額・基準価額(分配金再投資)および分配金は、1万口当たりです。
 ・上記グラフ・数値は過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。
 また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

PIMCO ニューワールドインカムファンド
<豪ドルコース> (毎月分配型) / <ブラジルリアルコース> (毎月分配型)

【ブラジルリアルコース】

基準価額の推移 (期間:2011年3月31日～2012年12月20日)



・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率1.7325%(税抜1.65%))控除後の値です。
 ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

分配金実績 (1万口当たり、税引前) (第1期～第19期)

第1期 (11年6月)	第2期 (11年7月)	第3期 (11年8月)	第4期 (11年9月)	第5期 (11年10月)	第6期 (11年11月)	第7期 (11年12月)	第8期 (12年1月)	第9期 (12年2月)	第10期 (12年3月)
90円	90円	90円	90円	90円	90円	90円	90円	90円	90円
第11期 (12年4月)	第12期 (12年5月)	第13期 (12年6月)	第14期 (12年7月)	第15期 (12年8月)	第16期 (12年9月)	第17期 (12年10月)	第18期 (12年11月)	第19期 (12年12月)	
90円	90円	90円	90円	90円	90円	90円	90円	50円	

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

・基準価額・基準価額(分配金再投資)および分配金は、1万口当たりです。
 ・上記グラフ・数値は過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。
 また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

PIMCO ニューワールドインカムファンド
<豪ドルコース> (毎月分配型) / <ブラジルリアルコース> (毎月分配型)

Q1 なぜ分配金が引き下げられたのですか？

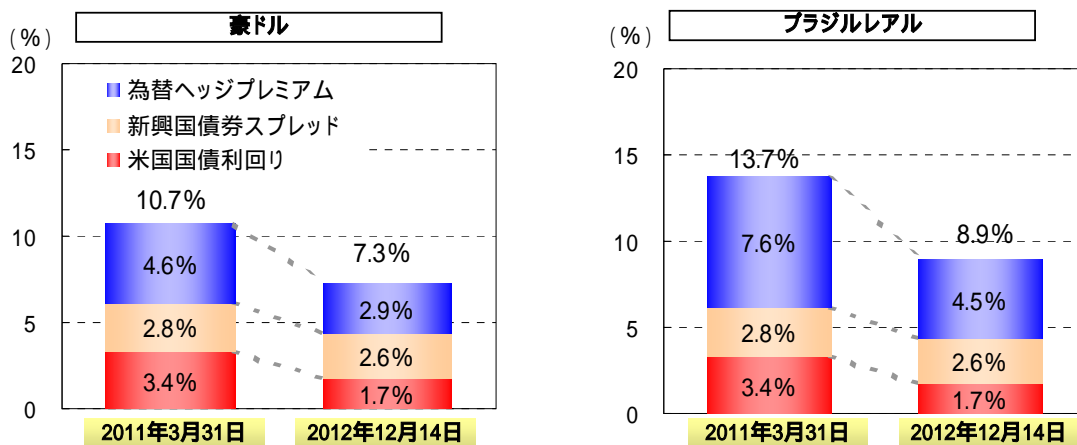
A. 分配金を引き下げた分の分配金額を純資産に留保することにより基準価額の成長をめざすためです。

・オーストラリアやブラジルにおいては中央銀行が複数回にわたり利下げを行ったことから、各コースの為替ヘッジプレミアムは減少傾向にあり、インカム水準が低下しました。

・世界的な景気減速懸念からリスク性資産への投資が手控えられる中、 相対的に利回り水準が高く、ファンダメンタルズの良好な新興国の債券が投資家に選好されたこと、 欧州債務問題への懸念が台頭したものの、新興国は先進国よりも高い経済成長が見込まれること等から、新興国の債券市況は概ね堅調に推移しました。その結果、債券価格の上昇を受けて新興国債券の利回りは低下しました。

以上を踏まえ、信託財産の成長を図りながら収益分配を行うことが投資家のみなさまの中長期的な利益につながると考え、インカム水準、基準価額水準、市況動向等を総合的に判断し、今般、分配金の見直しを行いました。

為替ヘッジプレミアム/コスト(シミュレーション)



(出所) ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

当シミュレーションは、5ページに記載されたインデックス、短期金利の数値を用いて三菱UFJ投信が行った試算です。各コースの利回りや期待される収益力を示したものではありません。したがって将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。また、「PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (毎月分配型) / <ブラジルリアルコース> (毎月分配型)」では米ドルに対して各コースのヘッジ対象通貨で為替ヘッジを行うため、円に対する各コースのヘッジ対象通貨の為替変動リスクが生じます。

上記グラフが示すプレミアム、利回りはあくまでも一時点の断面です。

- ・為替ヘッジ取引にあたっては、一部新興国通貨の場合、「NDF(ノン・デリバラブル・フォワード)取引」を利用する場合があります。
- ・NDF取引とは、将来の所定の期日に当該通貨の受け渡しを行わず、主に米ドルなど主要通貨で差金決済のみ可能な為替先渡し取引(デリバティブ取引)です。
- ・NDF取引では、市場の期待値(需給)や規制の影響を大きく受けて価格が形成されます。そのため、ヘッジプレミアム/コストは、理論上期待される短期金利差から大きく乖離する場合があります。

為替ヘッジプレミアム: 各通貨の短期金利(米ドル・豪ドルは1ヵ月LIBOR、ブラジルリアルはJPモルガンELMI+の利回り)を使用して三菱UFJ投信にて算出
 新興国債券スプレッド: JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドのスプレッド
 米回国債利回り: 新興国債券の最終利回りからスプレッドを控除した利回り

- ・上記グラフは指数を使用しており、ファンドの運用実績を示すものではありません。指数については5ページをご覧ください。
- ・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。
- ・上記は、理解を深めていただくためのシミュレーションであり、実際の運用成果とは異なります。
- ・上記グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。また、為替・税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- ・本見通ししないし分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

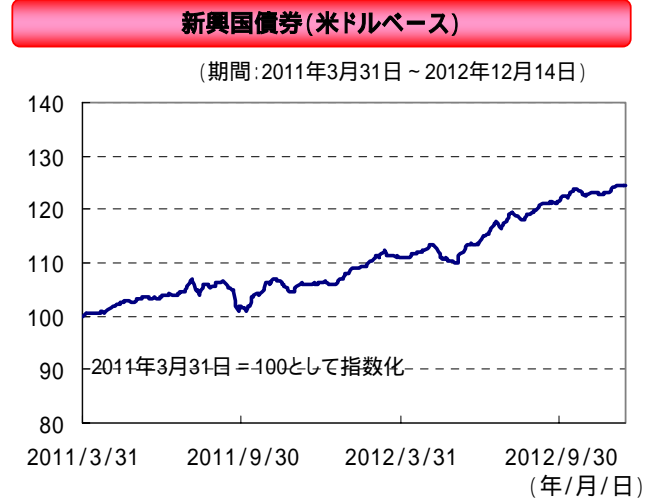
後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

PIMCO ニューワールドインカムファンド
<豪ドルコース> (毎月分配型) / <ブラジルリアルコース> (毎月分配型)

Q2 今後の投資環境と見通しについて教えてください。

<新興国債券>

新興国では、中長期的には中間・富裕層の増加を背景とした力強い内需に支えられて経済が拡大し、先進国を上回る経済成長を達成するものと見ております。加えて、新興国の財政状態が相対的に健全であることや政策金利の水準が高いことを考慮すると、財政および金融政策の余地が残されており、今後の経済的なショックに対する耐性は先進国と比較して相対的に強いと考えられます。一方、先進国には「過剰債務と成長力不足」という構造問題が残存し、欧州債務問題等の抜本的な解決には時間を要すると予想されるほか、解決の過程では市場の変動性が高まる局面が見られる可能性があります。これらの新興国への影響については今後も注視する必要があります。

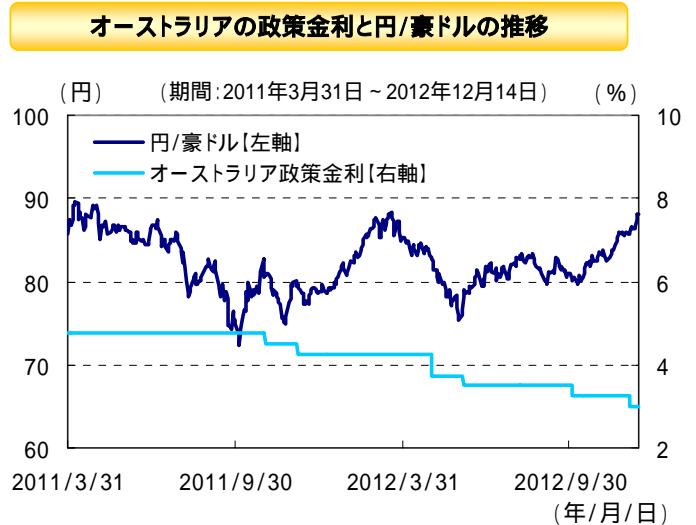


・上記で使用している指数については、5ページをご参照ください。
 ・計測期間が異なる場合は結果も異なる点にご注意ください。

(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

<豪ドル>

豪州経済は、最大貿易相手国である中国で景気減速懸念が後退し、豪州国内で来年にかけて資源関連投資の拡大が継続するなど、安定的な成長が見込まれます。また、豪州国債は主要格付会社から最上位の格付けが付与され、見通しも「安定的」とされています。一方、RBA(豪州連邦準備銀行)が12月4日に政策金利を0.25%引き下げ、3.00%にするなど、現状金融緩和局面にあります。豪ドルは安定的な経済成長や、良好な格付状況が上昇に寄与する一方で、金融緩和観測の高まりや、日本の強力な金融緩和への期待先行による円安の一服により、対円でもみあうと考えています。その後は、長期金利はもみあいが続くものの、米国での「財政の崖」と呼ばれる財政緊縮懸念が後退することなどから、豪ドルは対円で上昇すると考えています。



・上記の為替は、WMロイター社のデータ(ロンドン時間16:00)を使用しております。

(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

(将来の市場環境の変動等により、上記の内容が変更される場合があります。)

・上記グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。
 ・本見通ししないし分析は作成時点の見解を示したものであり、将来の市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。

後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

**PIMCO ニューワールドインカムファンド
<豪ドルコース> (毎月分配型) / <ブラジルリアルコース> (毎月分配型)**

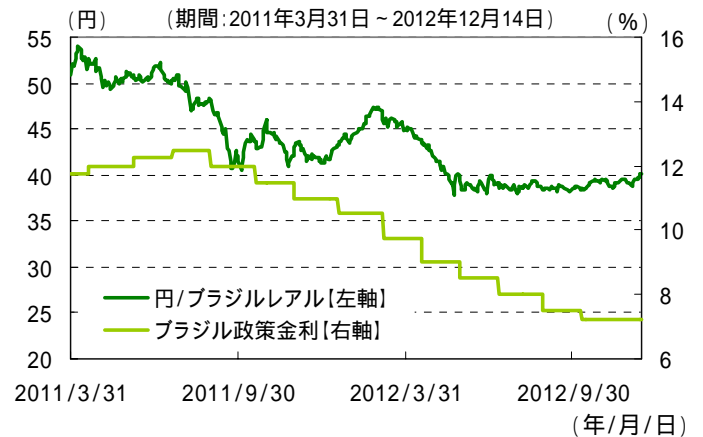
Q2 今後の投資環境と見通しについて教えてください。

<ブラジルリアル>

ブラジル経済の減速基調には歯止めがかかったとみえますが、7 - 9月期の実質GDP(国内総生産)成長率にみられるとおり、回復ペースは緩慢で、政策当局は減税などの景気刺激策を継続するとみられます。一方で、インフレ率が徐々に高まっていますが、政策金利は景気への配慮から低位に維持されるとみえています。また、先進国では景気低迷などから今後も金融緩和を推進すると考えています。ブラジルリアルは政策当局が国内景気刺激のために通貨安を許容しやすいとの見方などから、当面上値が重いと予想しますが、その後は、景気回復基調の継続とともに対円で堅調に推移し始めると考えています。

(将来の市場環境の変動等により、上記の内容が変更される場合があります。)

ブラジルの政策金利と円/ブラジルリアルの推移



・上記の為替は、WMロイター社のデータ(ロンドン時間16:00)を使用しております。

(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

今後とも引き続き、「PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (毎月分配型) / <ブラジルリアルコース> (毎月分配型)」をご愛顧いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

【当資料で使用している指数について】

JPMorgan EMBIグローバル・ダイバーシファイド

JPMorgan EMBIグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P. Morgan・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している米ドル建ての新興国債および国債に準じる債券のパフォーマンスを表す指数で、指数構成国の組入比率に調整を加えた指数です。組入比率の調整を行わない指数としてJPMorgan EMBIグローバルがあります。JPMorgan EMBIグローバル・ダイバーシファイドは、J.P. Morgan・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ.P. Morgan・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。

JPMorgan ELMi+

JPMorgan ELMi+とは、J.P. Morgan・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している新興国の現地通貨建ての短期金融市場の収益率を表す指数で、主に新興国の為替のフォワード取引等をもとに算出される指数です。JPMorgan ELMi+は、J.P. Morgan・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ.P. Morgan・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。

・上記グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。
 ・本見通し分析は作成時点の見解を示したものであり、将来の市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。

後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

PIMCO ニューワールドインカムファンド
<豪ドルコース> (毎月分配型) / <ブラジルリアルコース> (毎月分配型)

<ご参考>

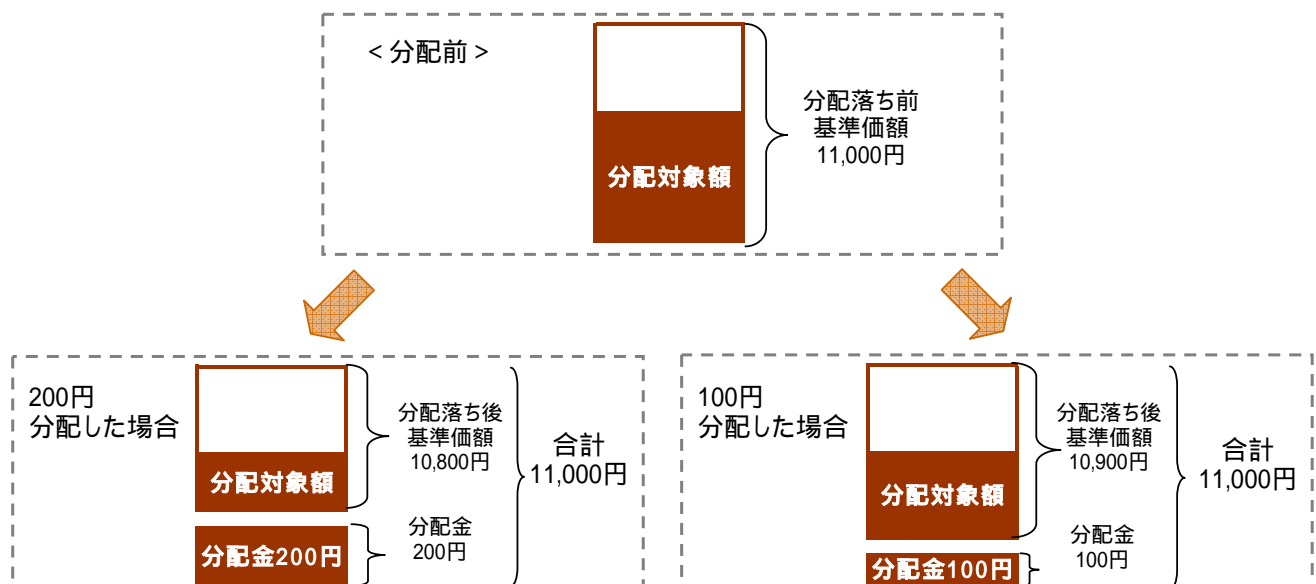
Q1 基準価額と分配金の関係について教えてください。

A1 基準価額と分配金はそれぞれが個別のものではなく、合わせて考える必要があります。基準価額は、投資している資産を時価評価して算出しており、ファンドの運用により得られた売買損益(評価損益が含まれます)や配当等収益が反映されています。分配金は、ファンドの運用から得られた収益を受益者のみなさまに還元する手段の一つであり、分配金をお支払いする場合には純資産から支払いますので、分配金に相当する資産が減り、基準価額が下落します。(くわしくは、7ページの「収益分配金に関する留意事項」をご覧ください)

Q2 分配金の少ないファンドは分配金が多いファンドより劣るのですか？

A2 分配金が多い、少ないということだけではファンドの優劣は判断できません。分配金はファンドの純資産の一部をお支払いしているものです。したがって分配金を引き上げるとその分基準価額が下落することになりますし、分配金を引き下げると基準価額の下落が抑えられることになります。投資者のみなさまの投資成果は、投資期間中に受け取られた分配金の累計金額と投資期間における基準価額の増減額をあわせて考える必要があります。したがって、分配金引き下げによりみなさまの受け取る分配金額が減少したとしても、それによりその期の投資成果が変わるものではありません。

<基準価額と分配金のイメージ図>



・上記は分配金と基準価額のイメージ図であり、ファンドの運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、上記イメージ図では保有資産、為替の変動等による純資産価値の変動は考慮しておりません。

後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

収益分配金に関する留意事項

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ

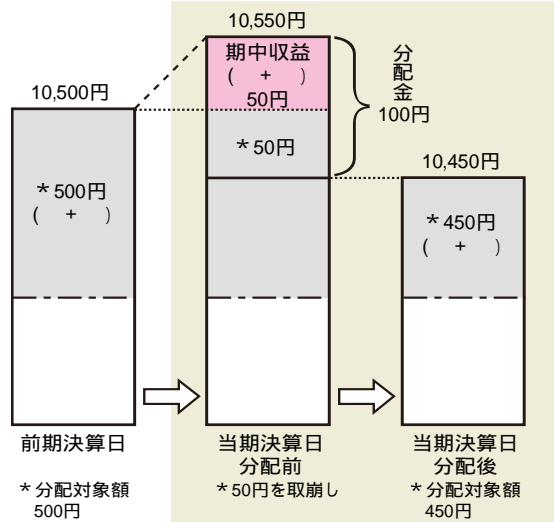


分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

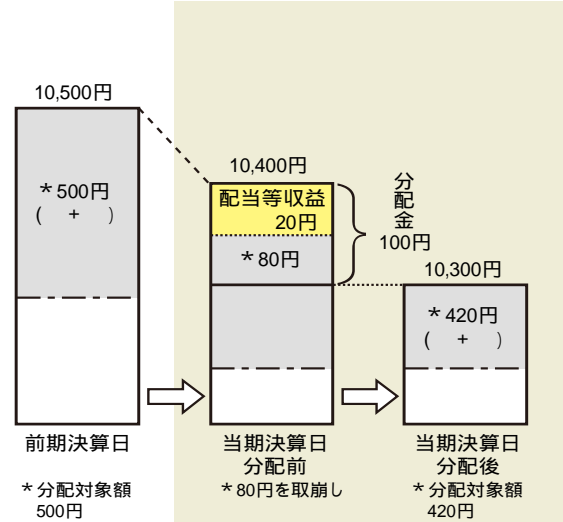
分配対象額は、経費控除後の配当等収益および経費控除後の評価益を含む売買益ならびに 分配準備積立金および 収益調整金です。
分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

(計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合)

(前期決算日から基準価額が上昇した場合)



(前期決算日から基準価額が下落した場合)



上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

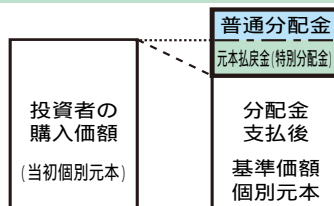
分配準備積立金: 当期の 経費控除後の配当等収益および 経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

収益調整金: 追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

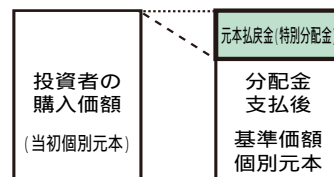
投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

(分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合)

(分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合)



元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

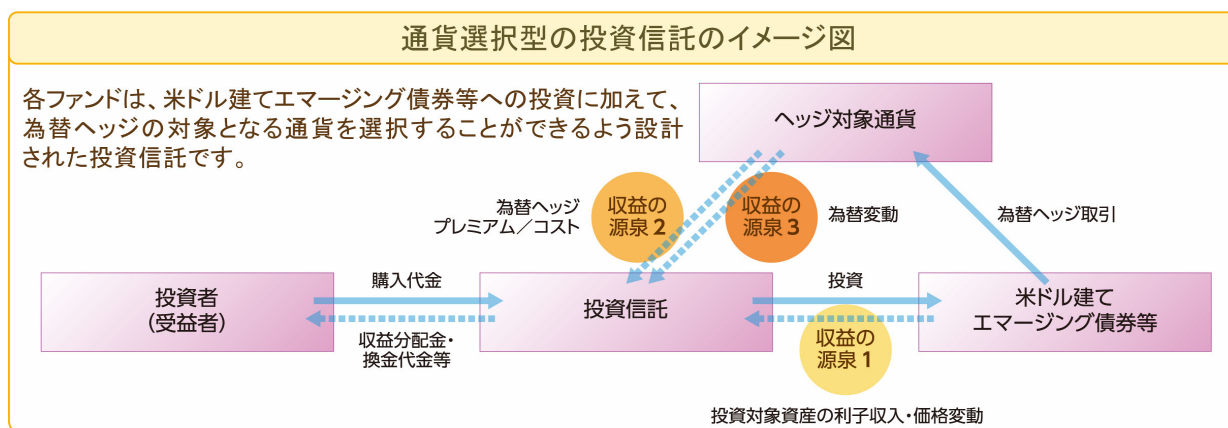


普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

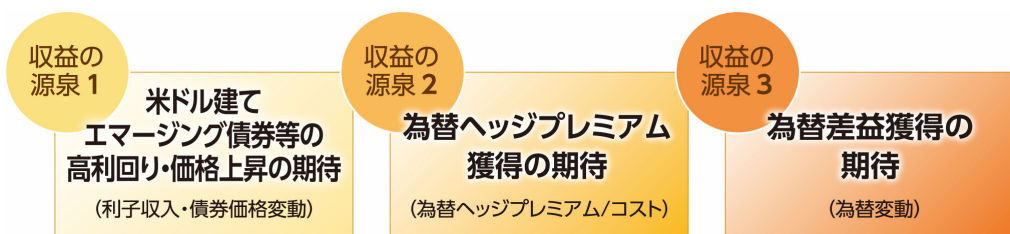
元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注)普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

通貨選択型ファンドの収益のイメージ



● 各ファンドの収益の源泉としては、以下の3つの要素があげられます。



● 各ファンドにおける収益の源泉と基準価額の変動要因は以下の通りです。



PIMCO ニューワールドインカムファンド

ファンドの目的・特色

- ファンドの目的**
 米ドル建てを中心とした世界のエマージング債券等を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。
- ファンドの特色**
 PIMCO ニューワールドインカムファンドは、以下の2本のファンドで構成される投資信託です。
- <豪ドルコース> (毎月分配型)
 - <ブラジルリアルコース> (毎月分配型)
- ・主として円建外国投資信託への投資を通じて、米ドル建てを中心とした世界のエマージング債券(新興経済国の政府および政府機関等の発行もしくは保証する債券(ソブリン債券、準ソブリン債券))に実質的な投資を行います。また、エマージング債券と同様の投資効果を持つ派生商品を活用する場合があります。証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドへの投資も行います。(ファンド・オブ・ファンズ方式)
 - ・投資対象とする円建外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。
 - ・投資信託証券への運用の指図に関する権限をピムコジャパンリミテッドに委託します。
 - ・各ファンドが投資を行う外国投資信託においては、米ドル建てを中心としたエマージング債券等に投資を行う一方で、米ドル売り、各ファンドの対象通貨買いの為替ヘッジを行います。これにより、「為替ヘッジプレミアム/コスト」、「為替差益/差損」が生じます。
 * 為替ヘッジ取引にあたっては、一部新興国通貨の場合、「NDF(ノン・デリバブル・フォワード)取引」を利用する場合があります。
 - ・毎月の決算時(20日(休業日の場合は翌営業日))に収益分配を行います。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
 - ・各ファンド間でスイッチングが可能です。(販売会社によっては、取り扱わないファンドがある場合があります。)
- <主な投資制限>**
- ・投資信託証券への投資割合に制限を設けません。
 - ・外貨建資産への直接投資は行いません。

投資リスク

- 基準価額の変動要因**
 ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。
 したがって、投資者のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。
 投資信託は預貯金と異なります。
- ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

市場リスク

- (価格変動リスク)
 一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。
- (為替変動リスク)
 各ファンドの組入外貨建資産は主として米ドル建て資産ですが、米ドル売り、各ファンドの対象通貨買いの為替ヘッジを行うため、各ファンドの対象通貨の対円での為替変動の影響を大きく受けます。
 為替ヘッジを行う場合で当該通貨の金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分がヘッジコストとなります。
 為替取引に関する規制がある場合など、通貨によっては、取引量が少なく需給動向等の影響を受けやすいため、市場で取引もしくは公表されている金利と大きく乖離した金利水準をもとに取引されることがあります。このため、当該通貨の金利が米ドルより高いときであっても、ヘッジコストが生じる場合があります。

信用リスク

- 組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

流動性リスク

- 有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

カントリーリスク

- 新興国への投資は、先進国への投資を行う場合に比べ、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響を受けることにより、市場・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

(ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

委託会社(ファンドの運用の指図等) 三菱UFJ投信株式会社
 受託会社(ファンドの財産の保管・管理等) 三菱UFJ信託銀行株式会社
 販売会社(購入・換金の取扱い等) 後記の各照会先でご確認いただけます。

設定・運用...三菱UFJ投信株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
 加入協会 (社)投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

PIMCO ニューワールドインカムファンド
投資リスク
その他の留意点

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。

リスクの管理体制

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。

また、運用委託先で投資リスクに対する管理体制を構築していますが、委託会社においても運用委託先の投資リスクに対する管理体制や管理状況等をモニタリングしています。

手続・手数料等
お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ファンドの基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
購入代金	販売会社の定める期日までに販売会社指定の方法でお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受け付けた購入・換金のお申込みを当日のお申込み分とします。
申込不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行の休業日、その他ニューヨークにおける債券市場の取引停止日は、購入・換金のお申込みができません。2012年の該当日は1月16日、2月20日、4月6日、5月28日、7月4日、9月3日、11月12日、11月22日、12月25日です。なお、休業日および取引停止日は変更される場合があります。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みには制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情（投資対象国における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等）による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等）があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消すことがあります。
信託期間	2016年6月20日まで（2011年3月31日設定）
繰上償還	各ファンドについて、受益権の口数が10億口を下回るようになった場合、または各ファンドの受益権の口数を合計した口数が50億口を下回るようになった場合等には、信託期間を繰り上げて償還となる場合があります。なお、投資対象とする外国投資信託が償還する場合には繰上償還となります。
決算日	毎月20日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	毎月の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上、株式投資信託として取り扱われます。

PIMCO ニューワールドインカムファンド
手続・手数料等
ファンドの費用・税金
・ファンドの費用

【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】

お客さまが直接的に負担する費用
購入時

購入時手数料	購入価額 × 3.15% (税抜 3%) (上限) 販売会社にご確認ください。
--------	---

換金時

信託財産留保額	ありません。
---------	--------

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用
保有期間中

運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額 × 年1.7325% (税抜 年1.65%) ファンドが投資対象とする投資信託証券では運用管理費用(信託報酬)はかかりませんので、お客さまが負担する実質的な運用管理費用(信託報酬)は上記と同じです。
---------------	---

その他の費用・手数料	売買委託手数料等、監査費用等を信託財産からご負担いただきます。 これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。
------------	--

運用管理費用(信託報酬)、監査費用は毎日計上され、毎決算時または償還時に信託財産から支払われます。その他の費用・手数料(監査費用を除きます。)は、その都度信託財産から支払われます。

購入時手数料、運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料(国内において発生するものに限りです。)には消費税等相当額が含まれます。

お客さまにご負担いただく手数料等の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

・税金

個人受益者については、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の価額から取得費を控除した利益に対して課税されます。なお、法人の課税は異なります。また、税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当資料のご利用にあたっての注意事項等

投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。/販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金に加入していません。/投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。/投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料は、当ファンドの運用状況をお知らせするために三菱UFJ投信が作成した資料です。/当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。/当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。/当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

市況動向および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行えない場合があります。

(ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**
受付時間 / 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝日・12月31日 ~ 1月3日を除く)

<オフィシャルサイト> <http://www.am.mufig.jp/>
<モバイルサイト> <http://k.m-muam.jp/a/1/3>
基準価額・分配金をメール配信(*メール配信対象外ファンドもあります。)



